

司会者 それでは定刻がきましたので、ただ今より全体会をはじめたいと思います。「WITTH」ともに燃やそう解放の炎！」のメインスローガンのもと、全体会では、お手元の資料にあります各学年のテーマに基づいて、進行していきたいと思いますが、この後、各学校代表者にそれぞれ学習会について説明をしていただいたのち、四人の方々に意見発表をしていただきます。その後、それらの内容も含めて、全体で意見交換をしていききたいと思います。活発な参加をお願いします。

それではまず、参加各校からそれぞれの学習会についての紹介を簡単にお願しいしたいと思います。

まず、鳴門第二中学校お願しいします。

鳴門第二中 僕たちの学習会では、一年から三年の十一人が、五教科の勉強と同和問題についての勉強をしています。年に一度、阿南市の方に一泊研修に行っています。

この中学生集会は初めて参加したのですがよろしくお願しいします。

司会者 ありがとうございます。応神中学校お願しいしま

す。

応神中 応神中学校は徳島市の北にあり、吉野川の北にあります。応神中学校の人数は百五十六名、学習会の生徒は五十六名、でも実際は三十人ぐらいいしか来ていません。学習会では、主に一年は国数英の三教科のプリント学習で、二、三年は五教科のプリントをしています。それに月に一回、同和問題学習と特別活動をしています。

司会者 ありがとうございます。続いて、板野中学校お願しいします。

板野中 板野中学校の学習会は、五会場で行われています。毎週月曜日と火、水、金の各会場一回づつあります。時間は夏場の五月から九月までは、月曜日は四時から八時までで、火水金曜日は六時半から八時までです。冬場の十月から三月までは、月曜日四時から七時半で、火、水、金は六時から七時半までです。月曜日は四時からなのは、塾などでこれない人のために早いうちから開けています。でも全部で百十三人もいるのに、あまり来れていないのが今の現状です。

何をやっているのかというと、地域学習などを行っています。地域学習は、一学期は校内部落問題発表会や第三

回部落解放徳島県中学生集会について話あったりしています。二期は第五回板野中学校同和教育研究大会についてや、板野町解放文化展に向けての作品を作ったりしています。今年から家庭連絡ということで、「ライツ」というファイルを、学習会の担当の先生からもらって、僕たちが書いて親にも書いてもらって、学級の先生にも書いてもらって学専の先生に返しています。あと今年から始まったのは、木曜日学習会の先生が学習会の生徒の家を家庭訪問しています。

今年の行事としては、五月に開講式がありました。開講式では、学習会の意義や目的をもう一度見直して、部落解放の主体者としての自覚を持つていきます。二期には、板野町で行われる解放文化展に出展する作品を制作しています。解放文化展には板野町の小、中、高の各学校、養護学校、老人会の人々が出展して、部落解放に真剣に取り組んでいます。そして十二月には南公会堂祭りというものがあつて、解放文化展の作品を展示したり、人権劇や解放歌などを発表しています。もしよかったら、みなさん見に来てください。三期に、今年から小学校との交流一夜研修会があります。最後にお別れ会では、

三年生を送る会と同時に、来年の抱負を話したりしています。

これで板野中学校の発表を終わります。

司会者 ありがとうございます。続いて、大麻中学校お願いします。

大麻中 大麻中学校の学習では、毎週月曜日と火曜日の午後六時半から八時十分までしています。毎回同和問題学習を行い、教科学習も時々行っています。同和問題学習では、同和カルタや漢字カルタ、学校での同和問題学習についての話し合いなどをしています。時には厳しく、時には楽しく取り組んでいます。

司会者 ありがとうございます。続いて、吉野中学校お願いします。

吉野中 吉野中学校では学習会は一週間に二回あつて、月曜日は勉強の日となっています。学年全体が学習会の日となつていて、全員が取り組んでいます。そのほか同和カルタなどみんなで取り組んでいます。出席率もよく、仲良くできていると思います。同和問題を真剣に取り組んでいきたいと思えます。

司会者 ありがとうございます。続いて、上板中学校お

願います。

上板中 上板中学校の学習会は月、火の二日間で、二会場で行っています。教科学習と同和問題学習で、教科学習は一、二年生は、国、数、英、三年生は理、社も学習しています。

司会者 ありがとうございます。続いて、加茂名中学校
お願います。

加茂名中 加茂名中学校では、火、木に学習会をしています。時間は六時から七時半までです。内容は自由に行ったり、教科の勉強をしています。月一回人権学習をしています。夏休みには一泊研修を行っています。今年中は中尾山高原に行つて来ました。行ってグラススキーやテニスをして、みんな仲良くなりました。十二月にはクリスマス会をしています。三月には三年生を励ます会とお別れ遠足をしています。

司会者 ありがとうございます。

加茂名中学校仲よし子供会 加茂名中学校仲よし子供会は、週二回の火曜日と木曜日に行っています。六時から七時半までです。学習内容は宿題をやったり、プリントをやったりしています。月一回、A地区と合同で人権学

習をしています。人権学習では、ビデオを見たりして意見交換をしています。夏休みには一泊研修をしています。今年中は中尾山高原に行つて来ました。行ってテニスやグラススキーをしました。そんなことを通して、B地区の結びつきが深まりました。十二月には、クリスマス会をしています。三月には、中学三年生を励ます会やお別れ遠足をしています。

司会者 ありがとうございます。続いて、石井中学校
お願います。

石井中 石井中学校では、毎週火曜日と木曜日の週二回あります。みんなとても仲がよく、楽しく勉強しています。学習会です。ことは学校の宿題や、同和問題学習を月に一回話し合っています。

その他にも毎年いろいろな行事があります。今年の夏には、YMCAの一泊研修に行くのでみんな楽しみにしています。他にもボーリング大会などもあり、先生方や保護者のみなさんもたくさん参加してくれて、学習会で私の楽しみの一つになっています。

これから学習会に参加して、いろいろなことを学んでいこうと思います。

司会者 ありがとうございます。続いて、阿南中学校お願います。

阿南中 阿南中学校は、一年生五人、二年生四人、三年生六人です。毎週火曜日と木曜日の七時から八時四十五分の間、学習会を行っています。学習会の内容は、教科学習と月一回同和問題学習を行っています。取り組む態度はみんな一生懸命、黙々と取り組んでいます。今日はいろいろなことを勉強して帰りたいと思います。よろしくお願います。

司会者 ありがとうございます。続いて、阿南第一中学校お願います。

阿南第一中 阿南第一中学校は、五つの小学校から集まっています。全校生徒は五百六十人くらいです。学習会会場は八会場あって、百二十三名がそれぞれの学習会場でがんばっています。水曜日は一斉学習会で、部活動は一斉に休みになります。私の通っている学習会は水曜日と金曜日で、小学校の時から「D地区は一つ」を合い言葉のもとに、地域内外全員が参加してがんばっています。

子供会ではバーベキューやバスケットボール大会などをしました。保護者のみなさんも参加してくれて、とて

も楽しかったです。また地域の文化として、祭ばやしを先輩方から教わって発表しています。その練習を冬・季合宿などで行い、発表しています。また、夏季合宿もあります。みんな力を合わせてがんばっています。

司会者 ありがとうございます。続いて、那賀川中学校お願います。

那賀川中 僕たち那賀川中学校学習会について発表します。僕たちの那賀川町では三つの学習会会場があり、全部あわせて四十五人の仲間が通っています。毎週火曜日と木曜日の十九時から二十時四十分まで、教科学習や同和問題学習などをおこなっています。その他に夏のキャンプや三年生を送る会、奉仕活動、交流学習会や子供会活動にも積極的に取り組んでいます。

みんなとても仲がよくて、学年を通して楽しく学習しています。これからはますます仲間を増やして、同和問題について深く考えていきたいと思っています。今日は一日よろしくお願います。

司会者 ありがとうございます。続いて、日和佐中学校お願います。

日和佐中 日和佐中学校学習会の報告をします。日和佐中

学校の学習会は男子十人、女子三人の計十三人で、火曜日と金曜日に教科の勉強や同和問題学習などをしていきます。勉強の苦手な子もいますが、みんなで声を掛け合って休まないようにしています。同和問題学習では、去年学習会報告をした卒業生が同和問題学習などを見に来てくれて、高校での同和問題学習の話をしてくれて、自分も教師になって同和問題学習をしていくと、熱き思いを語ってくれてのが印象に残っています。

学習会のメンバーはみんなで何かをするのが好きで、何人でも楽しく、去年は大阪の人権博物館で勉強してきました。今年は奈良県の水平社記念館に行くことになっています。

私たちが学習会で学んだことはつながりだと思えます。さっきの卒業生は、よく教科学習に来てくれてつながりを大切にしていると思います。僕たちはその事を大切にしながら、学習会に取り組んでいきたいと思えます。

司会者 ありがとうございます。続いて、三好中学校お願います。

三好中 三好中学校では、週二回、七時から九時まで学習会をしています。一年と三年女子二人なので少し寂しい

です。先生は二人来てくれて、パソコンを使って勉強をしています。学習記録を書いたりしています。また、月二回調理実習もしています。大きな行事では、一泊研修、七夕会、クリスマス会、ふれあい会などで、小学生と一緒に遊んだりしています。

私たちは少人数なので、隣の三野町や池田町の学習会の仲間と合同で、月一回学習会をしていて、今年から楽しみが増えました。今日も真剣に取り組みたらと思えます。

司会者 ありがとうございます。続いて、川島中学校お願います。

川島中 川島中学校では、三年生五人、一、二年生各五人の合計十五人で学習会に通っています。いつもみんな話しながら有意義な勉強をしています。いつも火曜日と木曜日の二回で、午後七時から九時までしています。そして夏には一泊研修などをしています。一泊研修では、今まで話をしたことのない仲間とより親しくなれます。夜遅くまで話をして、とても楽しいです。私たちの学習会は、人数は少ないけど頑張っていきたいです。

司会者 ありがとうございます。続いて、鴨島第一中学

校お願いします。

鴨島第一中 私たち鴨島第一中学校は、二つに分かれて週二回学習会を行っています。人数は全員で二十三名ですが、みんなで楽しくやっています。五教科の勉強の他に、お祭に出す作品づくりもしています。

今日は八人でやって来ましたが、たくさん友達をつかって帰りたいと思います。よろしくお願いします。

司会者 ありがとうございます。続いて、市場中学校お願いします。

市場中 市場中学校の学習会では、三会場毎週火曜日と金曜日に五教科を勉強しています。時間は、夏は七時から八時半、冬は六時半から八時までです。月一回、同和問題学習をしています。行事は夏の一泊研修、クリスマス会などをしています。今年初めて参加しました。よろしくお願いします。

司会者 ありがとうございます。続いて、美馬中学校お願いします。

美馬中 私たちは、毎週火曜日と木曜日に学習会を行っています。火曜日は同和問題学習、木曜日は教科学習をしています。八月一、二日に一泊研修が終わったところで

す。今日は集会に参加しているなことを学んでいきています。

司会者 ありがとうございます。続いて、香川県豊中学校お願いします。

豊中中 豊中学校の学習会は、週二回行っています。主に教科などの勉強を行っています。また月に一回程度、解放学習会を行い、部落問題について学習しています。

僕が今まで一番印象に残っている解放学習会は、狭山事件のことです。このことを勉強して僕は、なぜこんなことが起こるのだろうと思いました。

これからもこの学習会でいろいろなことをやっていきたいと思っています。

司会者 ありがとうございます。続いて、香川県内海中学校お願いします。

内海中 香川県内海中学校の一年のNです。ぼくらは今、八人の仲間と頑張っています。去年小学校の時に立場を自覚しました。中学校での解放学習は七月から始まりました。月一回、夜二時間ぐらい歴史や学校生活のことや差別のことについて学習することになっています。

内海中学校では、僕らが入学してから解放学習が始ま

りました。だから、まだまだ勉強不足だし、同和問題について話し合う友達も少ないです。今日は部落解放に頑張っているみなさんの話を聞きたいし、ともに頑張る友達を増やすために来ました。よろしく願います。

司会者 ありがとうございます。続いて、山川中学校お願います。

山川中 山川中学校学習会を紹介します。まず、中学生全員あわせて十七人います。学習会は火曜、日曜日の週二回しています。夏休みに入って、三年生は金曜日もしています。子供会学習は、人権学習を含めて一泊研修や宿泊訓練を行っています。夏休みは僕たちが会館を借りて、僕たちが自主勉強します。これで紹介を終わります。司会者 ありがとうございます。これで参加二十校全ての中学校の学習会紹介が終わりました。それではこのあと、四人の意見発表をいただいた後、本会場全体で意見交換を行いたいと思います。

それでは一つめの報告を大麻中学校三年Fくんよりお願いします。

大麻中F みなさんは部落差別のことについて、真剣に考えたことはありませんか。自分には関係がないとか、部落

差別は遠くの問題と感じていませんか。部落差別のことを正しく理解してくれるかどうかは、僕たち学習会にとつて大きな問題なのです。

僕たちは、小学生の頃からずっと学習会で、部落差別に負けないように同和問題学習に取り組んでいました。でも、僕自身、小学校の時には友達が欲しくて、学習会に行きたくなかった時がありました。中学校の学習会の時間になると、もう少し部活動がしたいのと思うこともありました。しかし、学習会が存在しているのは、世の中に部落差別があるからなんだ。そして、月、火はみんな同和問題学習について考えていく時間なんだと、自分に言い聞かせてきました。

けれどすごく不安になることもあります。高校友の会との交流会で、差別されたという話を聞きました。その人の話では、「おまえ部落出身だろ」と言われたそうです。その時すごく腹が立って、思い切り殴りたかったそうです。でもそんなことはしませんでした。そんなことをしたら、やっぱり部落出身やけん暴力ふるうと言われると思っただからです。

みなさんはこのことについてどう思いますか。僕はこ

の話をきいて、ものすごく腹が立ちました。今だにこんなことを言うやつがいるのかと呆れてしまいました。そんなことを言うやつはほっとけばいいやと思いましたが、しかしほっといただけではなんの解決にもならないから、だから、間違えた考えをちよつとでもいいから正していきたいのです。でも、実際にその場に直面したときに、何もできないのではないかと思うことがあるのです。この間の学習会の話し合いの中で、もし知らない人からどこから来たんって聞かれたら、どう答えるのだろうかとか考えてしまったほどでした。今の僕には、本当の住所がわかるかどうか分かりません。はつきり言って、本当の住所を言った時の相手の反応が恐いこともあります。こんな不安な気持ちを作りだす部落差別が、ほんとに憎いです。

今、僕たちの地域では、解放運動という活動に多くの人参加しています。部落差別を受けたことのある僕の父や母も、解放運動に参加しています。部落差別をなくそう、地域の子供や孫には部落差別のつらい思いをさせたくないという願いから、力を入れてくれてるそうです。この解放運動によって部落差別も少しはなくなり、

環境や暮らしはずいぶんよくなったと祖父から聞きました。学習会もこの解放運動からできたものです。僕は解放運動に力を入れてくれた人々に感謝しています。もし解放運動がなかったら、差別も少なくなってなかったし、今の暮らしもなかったと思います。

部落差別は少なくなったと言いますが、なくなったわけではありません。僕の父は、母との結婚を反対され、結婚までに三年かかったそうです。部落差別はまだまだ身近なものなのです。だからみんなにも自分自身の問題として、もっともつと真剣に考えてほしいのです。僕は学習会の仲間とともに、心から信じあえることのできる仲間をつくっていきたくです。そして一日も早く、部落差別に苦しむことのない世の中をつくりたいのです。

ご静聴ありがとうございます。

司会者 ありがとうございます。続いて二つめの報告を板野中Kくんよりお願いします。

板野中K 僕は、部落差別も「障害」者差別も、いじめや他の差別に対しても、すごく憎いです。僕は自分でそんなことを思っているのに、それを無視したようなことがあります。それは、花火大会の時に「障害」者が来て

いて、その人は車椅子に乗ってて、その人は足が不自由で一つの足が無くて、友達に「気色悪いな」といわれたときに、迷いもなく「うん、そうやな」と言ったことがあって、いつも憎いとか言っているのに、それに賛成しているから、自分がごっつい恥ずかしくて、恥ずかしいけん、差別とか自分で恥ずかしいことや醜いことをしていたので、それを人に言えないことをしているの自分でがいやです。だから今中一なので、そんなことはほしくないようにしたいです。

それと、みんなに言いたいことは、授業で習ったことで、自分以上を目指すことと、みんなの中にみんながいたらいと思いました。

司会者 ありがとうございます。続いて二つめの報告を板野中Nくんよりお願いします。

板野中N 『同和問題学習についてと輝く生活』

僕が部落差別を知ったのは小学生の時です。道徳の時間先生から、簡単なことを教わりました。そのころの僕は本当に無関心で、自分をどういったものにしていくか考えなく、ただ話を聞いているだけでした。しかし、中学校に入学して、一年生から同和問題学習についての話

をきいたり、全体学習で発表をしたり、自分が被差別部落の人間であると知ったりと、いろいろなことを通して成長できたと思います。自分に自信と誇りを持てるようになりました。

でも、まだまだ見直さなければならぬ点も多くあります。自分では知らないうちに友達を傷つけていたり、自分ではだめだと思っているのですが、心の中の陰の自分に負けてしまうことが多いのです。けれど、僕が思うには人は、誤りを犯すことで少しずつ成長できると思います。そして、その間違いを見つめ、考えることが大切だと思うし、やはり人間は完全な生き物では無いと思います。けれど、人間は努力次第で限りなく輝くことができます、まさに無限の可能性を秘めていると思います。輝く人間をつくるために、一人ひとりが努力する必要がありますと思うし、僕自身も努力していきたいと思えます。

同和問題の解決に向けて僕はこう思います。まず差別がどれだけ醜いものかを、具体的な事実にもとづいて知ることだと思えます。差別意識というのは、僕らの心に住みついているものだから、差別はいけないというだけでは、なくせないのが現実だと思えます。そして、差別

の醜さについて自分の心が揺れ動けば、差別意識を押さえるのにいいのではないかと思えます。

さつき僕は、こういう考えを持っていました。その考えとは、政治的に差別はつくられたのだから、行政が悪いという考えです。でもよく考えると、この考えは間違っていました。差別を現在まで受け継いできたのは僕らだからです。ということ、僕らが差別をなくしようと努力することは、当たり前のことだと思えます。

それともう一つ、同和問題解決について僕が思うことは、部落差別の現実や歴史を、もっと知り理解する必要があると思います。そして、それを多くの人に伝えいくことが必要だと思います。正しい知識が無ければ、偏見は無くならないと思うからです。

でも、僕が思うには、僕らに今大切なのは、一日一日の生活だと思えます。自分の生活をしっかりとしていかなければ、自分の心の中にいる差別意識や周りの差別意識に勝てるわけがないからです。自分の日常を向上させるために、一日の終わりに自分に自信がもてるようになり、自分が好きになる、そんな生活を僕らはこれからしていかなければならないと思えます。自分に自信と誇り

を持って。

ご静聴ありがとうございました。

司会者 ありがとうございます。続いて豊中中学校三年 Tくんよりお願いします。

豊中中 T まず最初にお礼を言います。徳島大会に香川県の僕たちを暖かく受け入れてくれてありがとうございます。

『一番に言いたいこと』

豊中中学校 三年 T

豊中中学校では、同和問題学習のことを笑顔学習と呼んでいます。それは、笑顔になるといふ願いを持って、豊中町の同和教育の教育を笑顔で学習してきたのです。他に全体学習というのがあります。まず最初に各クラスごとで笑顔学習をします。体育館で一学年ずつが集まり、そこで意見を言い合ったりするのが全体学習です。

僕は一年の時、この全体学習で発表をしました。その中で僕は、今みんなに言いたいことがあるが、言わないと言いました。しかし、今だに言えていません。今だに同じ学校の仲間のこと信じられないからです。それは僕の中で、許せないことがあるからです。小学生の頃にした差別の授業で、みんな涙を流しながら頑張ったの

に、中学校になって差別のことを考える人が、だんだん少なくなつたことです。僕はいつたい何のために涙を流したのか、分からなくなつてしまいました。だからその時言えなかつたし、今だに言えていないのです。しかし、このままではいけないと思つています。ある先生が、おまえの一番言いたいことを言うことによつて、必ず仲間が増える。逃げんと言えと言います。僕も差別をなくそうとする仲間がいれば、その仲間をもつと増やせばいいのだと思ひました。今は、今度の全体学習で言おうと思ひます。

全体学習ではいろいろなことがありました。僕が一番心に残つている全体学習では、僕の友達がみんなの前でこういひました。「僕は靴を隠されたことがたくさんある。上靴を隠された時、僕はとても気分が悪くなる。言葉では言えないくらいの怒りを覚えました。僕に悪いことがあるなら、直接僕に言つてください。こそこそこんなことをしないでください。このことはみんなに知らされたくなくて黙つてました。でも、水平社宣言を勉強して、僕も勇気を出して言うことにしました」と、声をふるわせながら発言しました。僕はこのときが一番心に

残りました。それは、その時いつもは見たことのないような真剣な顔があちこちにあつたからです。いままでは、真剣に考えれなかつたりしたのに、この時ばかりは、みんなの心が一つになつたと思ひます。真剣にということ、必ず周りの人を変えることができるということ、信じて、次の全体学習では頑張ります。

ところで、最近一つ気になることがあります。それは、人に教える側にある先生が、下級生に僕とつきあうとか、遊ぶなど言つているのを知つたことです。僕にも少し悪いことがあるかもしれないけど、自分なりに一生懸命やつてきたつもりです。でも、よく考えると、その先生が言つた言葉も差別だなど感じました。僕は、先生が差別をしてどうなるのか、仮にも差別の勉強を教えてくれているのに、こんなことがあつてもいいのかと思つてしまいます。だから、もう先生のことを信じることができなくなつてしまいました。先生が差別をやめない限り、決して差別はなくならないと思ひます。

僕はまず、この学校から差別をなくしていこうと思ひました。先生にも考えてほしいので、今度の全体学習では頑張つて言うつもりです。最後に、僕は一生かかつて

も諦めず前向きに、自分が部落の人間だと胸を張っていきたいです。これで終わります。

司会者 ありがとうございます。意見発表をしていたいた四名のみなさんは降壇して、元の席に戻ってください。

それでは引き続き意見交換に入りたいと思いますが、話し合いの内容は、お手元の資料にあります各学年のテーマや、ただ今していただきました意見発表について深めていきたいと思えます。なお記録の関係上、発表者は中学校名、学年、氏名を言ってから発表していただきますようお願いいたします。それではよろしくお願いします。

司会者 どうぞフロアーからの積極的な発言をよろしくお願いします。

吉野中M 司会の吉野中学校のMです。さっきT君だったかなあ、えーつと言ってくれたと思うんだけど、先生がどここの子と遊ばれんって言いよったんやけど、僕のを考える先生って言うのは、生徒の模範となるのが先生と思っているの、先生自らそんなことを言っているようでは、ちよつとまずいんじゃないかなと思えます。先生もちよつと考えをもつと改めてもらわなければ、もうち

よつと。教師の中でも僕がこんなことを言うわけにはいかんけど、そういう先生はちよつとやめてほしいと思えます。僕は、生徒の模範となるのが先生と思っているの、そういう先生は辞めてほしい、懲戒免職にしてほしいと思えます。

司会者 他にありませんか。

吉野中D 吉野中学校のDです。今のM君の意見とよく似ているというか、私の意見では、先生がその子と遊んだらいかんとか言うんは間違うと思うけど、先生やって人間やから、差別心が絶対ないっていうわけではないと思うんですよ。だから、こう遊ばれんよつていわれた子は腹立つと思うんやけど、その先生と一緒に差別について考えていけたらいいと思えます。

司会者 ありがとうございます。他にありませんか。

大麻中E 大麻中のEです。私もDさんと同じ意見だと思ふんですけど、先生が差別をしていると言っていたのだけど、私は、その先生は、これからその子と一緒に考えていくことが大切だと思います。

司会者 フロアーの方からの意見はありませんか。

★★★ 僕もM君たちと一緒に、やっぱ先生がそんなこ

とを言ったりしたら、生徒も差別意識を持って差別してしまうと思うし、そういう先生がいたら、本当にその先生と向き合って話し合っていったらいいと思います。

司会者 ありがとうございます。他にありませんか。

板野中N 板野中学校のNです。私が思うのは、やっぱりそういう考えをもつとる先生がいるから、全体学習や道徳があると思うから、その場で自分はこう思うからという意見を出して、みんなで話し合って、みんなで考えていったらいいと思います。

司会者 ほかにありませんか。先生方から意見はありませんか。

豊中中教師 えっと、今意見発表したT君の、一応学校の先生です。今、発表の中で出てきた先生って言うのは、一緒に働いている先生だと思えます。今、何人かの人が意見を言ってくれたように、先生と向き合う場面が今から必要なのではないかと考えています。それが、いくつかの人の意見にもあったように全体学習であったり、同和問題学習であったりすると思います。その先生が今の言葉を聞いて、どういう風に考えてもらえるかが今からの勝負じやないのかなと思います。

で、一応 僕も同和の担当ということでやっているのですが、でも、一番難しいのが先生だと思えます。考えが変わりにくいのが一番、子供は一番すぐ変わるんですけど、なかなか変わりにくいのが先生だと思ってます。それを、僕自身の力では変えられないところで、すこくいらいらするところがあるんですけど、今日十三人の子と一緒にきているんですけど、十三人の子が豊中学校の同和問題学習なんかを変えてもらったら、人に頼んであれなんですけど、そういう力をつけて、実際変えていってほしいなと考えています。

今日はまた、この昼からでもいろいろお願いしたいと思えます。

司会者 他にありませんか。

豊中中T 豊中中学校のTですが、みなさんが発表してくれてあげたいと思います。みなさんが言ってくれたように、同和問題学習の中で、そういうことを話し合っていくたいと思います。

司会者 ありがとうございます。

那賀川中R 那賀川中学校のRです。僕はあまりうまく自分の考えを話せませんが、やっぱり間違っていることは

間違っているのです、差別とかはあってはいけないから、先生とも話しあっていかなければいけないって、さっきの話し合いで思いました。

司会者 他にありませんか。えっと別のテーマでもいいので発表してください。

吉野中D 吉野中学校のDです。一番はじめに発表してくれたF君の意見についてなんですけど、F君は、自分の住んでいるふるさとに自信が持てなかったということを言っていたんですけど、私もおなじような経験があつて、中学の一年二年と同和問題学習をたまにやっている中で、自分のふるさとである吉野町が、他の町に偏見を持たれていると知りました。それで、吉野の道は走りたくないとか、そういう偏見を持たれているということを知って、すごく腹が立ったんですよ。初めは、腹は立っていたんだけど、そのうちに自分のふるさとである吉野町に、自信というか誇りが持てなくなつて、どうしようもなくなくなつていて、それで買い物とかに行つたとき、カードを作るときに自分の住所を書くときに、吉野町って書く時に店員の人はどう思うんだろうとか、いちいちそんなことを考えてしまうようになってしまつたんですよ。

でも、そんなときにまた、同和問題学習の時なんですけれども、獅子舞について学んでいったんですよ。吉野町は昔から獅子舞が盛んに行われていて、その獅子舞を守り続けてきた先人いろいろなことを聞いて、その先人たちは、水害とかにも悩まされて、差別とも闘つて、強く生き抜いてきたことを聞いて、自分は、こんな周りに偏見を持たれていることで、自信がもてなくなつたり、誇りが持てなくなっているようではだめだと思つて、獅子舞についても一生懸命学んで、今は自分の住んでいる吉野町に、すごく誇りが持てるようになりました。他の中学校の人はこんな経験はありませんか。

大麻中A 大麻中学校のAです。Dさんが言つたように、私たちの住んでいる地区でも獅子舞はしているんですけど、その獅子舞は、三年前まで男子しかたけなかつたんですけれど、それで三年前の先輩から女子もたきたいと言ふことで、説得してもらつてたんですけど、あたしたちの年から獅子舞がたけられるようになったんですけど、その説得してくれた人たちに感謝したいです。

司会者 他にありませんか。地域のことでいいので、何か差別を解消できたこととかでもいいので、どんどん発

表してください。

大麻中O 大麻中学校のOです。私はまだ差別を受けたこととはないんですけど、実際に先輩が高校に行つて差別を受けた話を聞いたんですよ。だから、将来差別を受けるかとても不安なんですけど、今学習会に行つているので、学習会で差別に負けない力をつけていきたいと思ひます。司会者 他にありませんか。被差別体験を受けたことのある人は、よければ発表してください。ありませんか。他のテーマに移りたいのですが、家庭内で差別について話し合つたこととか、家族の人の理解があるとかないとかでもいいので、どんどん発表してください。フロアーからの意見はありませんか。

大麻中H 大麻中のHです。僕はお母さんの方が、今のお父さんと違う人とききあひよるときになんか、おばあちゃんにこの子とはつおうたらいかんのよとか、自分が部落地域なのにそういうことを言つて、私らの地域以外の人と結婚したら捨てられるとか言われたそうです。それで、僕のお父さんの方がお見合ひの話を出してきて、お母さんはそれがいやで、友達の家に行つたそうです。あまり知らないけど、お母さんのお姉さんの夫が探し当て

て、それでお見合ひで結婚したのですが、僕が言いたいのは、なぜ、おばあちゃんが部落地域だからといつて、あそこの子と結婚したら捨てられると言つたのか疑問になりました。

司会者 ありがとうございます。他にありませんか。

豊中中B 豊中中学校のBです。家で話し合つてお母さんと話し合つていて、自分ちの親が、おばあちゃんが差別をしてみると聞いて、それで、その後にお父さんに聞いてみると、よくわからないけど、他の人がしているからとかそういう感じで、部落差別を勝手にそうやって受け継いでいるみたいにしているので、やっぱりそういうのがなくならない限り、いけないと思ひます。

司会者 さつき発表してくれたB君の意見について何かありませんか。

石井中C 石井中学校のCです。私は、知的「障害」者のことなんだけど、その子が家の前を通つて帰るときに、学生の子たちがなんか馬鹿にして、その子が言われるから叫ぶんですよ。それで、その子たちがまねして叫ぶんですよ。それで私は止めることができなくて、今でもその子が通る時に、自分が叫ばれたらいややなあとかそう

いうことを思うんですよ。それを直すようにがんばって
いこうと思います。

司会者 「障害」者差別について意見が出たんですが、同
じような体験をした人とか、「障害」者に対して同じよ
うな偏見を持ちたりしたことがある人は発表してみてく
ださい。

大麻中A 大麻中学校のAです。「障害」者が私の横とか
を通っていたら、いややなあとか思ってしまったことが
あるんですよ。それで、それに対して後であんなことし
たら、あの人は悲しかったんだろかなとか思ってたんで
すよ。だから、これからは「障害」者がいて困ってたりし
たら、私は助けてあげられるようにしていきたいです。

司会者 他に「障害」者差別についてありませんか。学校
で「障害」者と交流するとかいう行事があたり、教えて
ほしいんですけどどうですか。

大麻中O 大麻中学校のOです。大麻中学校では、文化祭
をやる時に、「障害」者も一緒に呼んで楽しむという行
事があるんですけど、みんな偏見を持ちたりはしてない
と思うんですけど、やっぱりいいように見てない人も中
にはいるようなんです。でも、帰りの時とかは、みんな

楽しんで帰ってくれるようにしたいという意見の方が多
いので、これからは偏見を持つような人を少なくして、
「障害」者も一緒に楽しめる行事にしていきたいと思
います。

司会者 他にありませんか。

板野中G 板野中学校二年のGです。板野中学校では、今
年体育祭の時に養護学校の人がきて、一緒に玉入れやフ
ォークダンスとかをしたけど、フォークダンスの時、そ
の子らと手つないたら、あんなと手つないでしまった
と言っている人がいて、友達とかも言ったりしよるけど、
自分は何も言えんし、そういうのが自分もこっついや
です。

司会者 ありがとうございます。他に意見はありません
か。意見がないんだつたら次のテーマに移りたいと思っ
ているのですが、先生方からは何かありませんか。では、
つぎのテーマに移りたいと思います。部落に生まれたこ
となんですけど、いつ、どこで、誰から知らされたか教え
てください。

大麻中B 大麻中学校のBです。僕は小学校の時、家で家
族から差別や家のこととか聞いていたときに聞きました。

大麻中 F 大麻中学校の F です。僕は、小学校一年生の時先生から聞かされました。その時は差別というものが分からなくて、あまり実感がわかなかつただけで、だんだん年をとって行って、差別がだんだん分かってきて、すこく腹が立つことなんだという感じで、将来どうしようという感じで、すこく不安になってきて、それで今、こうやって勉強しています。

応神中 僕も小学校五、六年くらいに学習会で先生から、自分は同和地区だということを知りました。そのときは、へーっ自分で、同和地区なんだと無関心に思っていました。今思ったら、昔はどうして無関心だったんだろう。どうしてもっと真剣に差別のことを考えてなかつたんだらうと思います。

司会者 他に意見はありませんか。みんな小学校の時に聞いたみたいんだけど、知ったときと今では、気持ちの変化とかあると思うんですけど、どんな変化がありましたか。

大麻中 F 大麻中学校の F です。はっきり言って、聞いたのは小学校一年ぐらいたったので、それから二年の終わりまでは何も考えないし、何も思いませんでした。でも、

三年生ぐらいにはいつてから、学習会の中でフィールドワークとか聞き取りとかして、学習会が何であるかとか分かって、真剣に取り組まないといけないと思いましたが。

司会者 他に意見はありませんか。

那賀川中 M 那賀川中学校の M です。僕は、小学校の六年生ぐらいの時に学習会にはいつて、その時に自分が同和の出身というのを聞いたんですけど、その時はあんまり意味が分かってなくて、関心もなかつたから、深く考えなかつたのですけど、中学校に入つて、学習会でいろいろなことを知って考えるようになりました。だから、今はそういうことをなくしていかなければいけないと思つています。

板野中教師 板野中学校の吉成といいます。さつき先生にも発言を求められたのもあって、ちょっと一言言つておきたいと思います。今、自分の立場を知らされて、どう感じて、今どう変わってきたかについて話を話し合われていると思うんですけど、やっぱりみんな不安を抱えている。そして、その不安というのが具体的に、たとえは、結婚するときに云々とか、おうちの人がどうこうや

つたとか、またいじめにあったとか、物を隠されたりとかいったことがあったし、あったということを聞いたしで、不安を感じているんだと思うんですよ。

でね、今ここに集まっているのは学習会の仲間ですから、同じ立場なんですよ。部落差別を受ける立場の仲間がこれだけ、今、人数聞きましたけど、約三百人近くがここに集まってきている訳なんです。そういう不安を、中学校の一年生や二年生や三年生の段階でみなさんが感じているっていうのを、地区外の友達、仲間知ってもらふ必要があると思うんですよ。そう思いませんか。よく部落差別のことを知らない友達、徳島市内にはもっと多くの中一、中二、中三の友達がいいます。その友達に、こういう部落差別や部落問題で不安を持つてるんやでということを、もっともっと知ってもらふ必要があると思うんですよ。

で、人間っていうのは、自分とちよつと違つたところがあるとか、よく知らない人とかに對して、のけ者にしようっていう気持ちがあつたかあると思うんです。たとえば、自分とちよつと違う知的障害がある人、自分とちよつと違つた肌の色が違う人、なおかつ、自分がよく知

らない人を、ちよつと遠くで見つていう意識があると思うんですよ。で、地区外の仲間という人は、みなさんについてよく知らなかったらでてくると思うんです。ということは、そういう同級生や仲間のみなさんに知らしていく必要があると思うんです。「障害」者差別についても同じような話し合いがされると思うんですけど、当面、みなさんが部落問題でつながっているんですから、その件に関して、本当に話し合いを続けていって、そういう中で、他のいろんな差別問題について、視野を広げていくのがいんじゃないかと思つています。

今、みなさんの手元にあるピンクの冊子に、三ページのところに分散会のテーマというのがあつて、それを元に進めていっているんですけど、自分のこと、家族のこと、学校のこと、学校の話とか一番はじめの頃たくさん出したでしょう。うちの先生こんなやとかね、あんな先生おつたらいかんとかね。地域の学習会のこととかひくくするめて、分散会で話し合ってもらえたらと思つています。今見てみると、かなり発言ができる子がぼちぼちいるなと、おーっ、すげーなと、力強いなとつていうことを感じましたので、分散会場で活躍してもらえたら

など、しっかりと自信と誇りを持って、やってみてください。先生から以上でした。

司会者 他に意見はありませんか。意見がなければ終わりますけどありますか。

終了時間が少し過ぎましたが、このへんで本全体会を終了したいと思います。ご協力ありがとうございました。

この後、全体会場の後ろでお弁当とお茶の受け渡しをしますので、各自で受け取りに行ってください。そして昼食・休憩の後、十三時までには各分散会場へ移動していただきたいと思えます。なお分散会場ですが、資料の三ページを開けてください。A分散会は五階の第二会議室、B分散会は四階の第二セミナー室、C分散会も同じく四階の第一会議室、D分散会も同じく四階の第一セミナー室、運営委員分散会は六階のレクリエーションホールで行う予定です。分散会では、やはり資料にありますテーマに基づいて進めさせていただきたいと思えますので、それぞれの考えをまとめておいてください。

それでは周りの仲間に積極的に声をかけ、互いに交流し合いながら食事をし、お昼のひとときを過ごしてください。よろしくお願ひします。

なお、分散会で記録をお願いしてある先生方は、マイクの所まで集まってください。